（一社）
長崎県臨床
検査技師会
発行

長臨技ニュース

創刊号
2020.10.01
発行・編集責任者
門脇和秀

祝　創刊号発行

コロナ禍の中、長臨技活動が停滞している現状を打開する方法はないか？常任理事会にて議論を重ねて参りました。いろんな案が出る中、出来ることから始めよう！ということで、この度、長臨技ニュースを発行することといたしました。

いつまで続くか分かりませんが、とりあえず、月に一回の発行をめざしてがんばります（笑）

Webセミナー検討中

長臨技主催のWebセミナーを開催しよう！という案が出ています。ただ、どのようにすればよいのか？やり方がよく分からず少し時間がかかっています。その内に開催にこぎ着けられるようにしたいと思っています。

長臨技
ニュース

長臨技執行部の紹介（1）

就任のあいさつ

会長　門脇和秀

本年度の総会において、長臨技会長に就任いたしました門脇和秀と申します。卯年生まれ、趣味は旅行と映画鑑賞。勤務先はみさかえの園総合発達医療福祉センターむつみの家です。私自身、昨年度副会長となつたばかりでの会長ということで、不安と戸惑いの中で日々職務に励んでいる状況です。丸田前会長をはじめとする歴代会長の足下にも及ばない未熟者であります。会員皆様におかれましても不安に思われていることと存じます。私としましては、幸運にも会長という名誉を与えていただきましたので、皆様のお役に立てるよう精一杯職務に励みたいと思っております。新型コロナウイルスの影響で例年通りの活動が出来ない状況ですが、役員一同力を合わせて試行錯誤しながらではありますが長臨技の発展のために努力していく所存です。会員の皆様、よろしくお願いいたします。

新・総務局長

長崎医療センター
藤田寿之

今年度より総務局の任を拝命しました、長崎医療センターの藤田寿之と申します。

前年より技師会活動に参加させて頂くようになって、まさか自分が総務局を務めるようになるとは思ってもいませんでした。本当にまさか…です。そしてよりによつて総務局！わからないことだらけで、日々、悩みながらやっています。

コロナ禍で思うような活動もできていない状況ですが、会員の皆様のお役に立てるよう、また、役員方々の力を借りながら、微力ではありますが、会の発展に少しでも寄与できるよう精一杯努めたいと思います。会員の皆様のご協力よろしくお願い致します。

地区をまとめて県を支える３人の副会長

北地区！

山口英人　【留任】
（佐世保市総合医療センター）

中地区！

中村孝男　【新任】
（長崎川棚医療センター）

南地区！

平田哲也　【留任】
（たきの内科クリニック）

新入会員紹介コーナー

今年度新規入会した会員の皆さんを紹介していきます。紹介のポイントは、Ⓐ施設名　Ⓑ出身地　Ⓒ趣味や特技など　Ⓓひと言メッセージ　となっています。

園田　空美

Ⓐ JCHO諫早総合病院

Ⓑ佐賀市

Ⓒ映画鑑賞やお菓子作り

Ⓓ目の前の仕事に真剣に取り組み、早く仕事を覚えたいです。よろしくお願いします。

山口　怜恩

Ⓐ JCHO諫早総合病院

Ⓑ鹿児島県

Ⓒ LIVEや音楽フェスに行くこと、書道

Ⓓ医療現場に貢献できるよう、努力して参ります。至らない点があると思いますが、よろしくお願いします。

中島 志穂

所属：長崎大学病院 病理診断科・病理部

出身：久留米市（福岡県）

趣味：ペットショップ巡り

ひと言：国試～入職までマイコプラズマ気管支炎でした。微生物に弱い（物理）ですが、めげずに頑張ります。

大田 弘美

所属：長崎大学病院 病理診断科・病理部
出身：太宰府市　　趣味：ダイビング
ひと言：働き始めて約半年がたち、少しずつですが業務内容を覚え、病理検査の大切さを実感しています。まだまだ慣れないことも多く、毎日新しい発見もあります。先輩方に迷惑をかけてばかりですが、頼りになる同期が他に３人いるので日々励ましあい、教えあいで頑張っています。

福田　龍一

Ⓐ　佐世保市総合医療センター

Ⓑ　熊本

Ⓒ　サッカー

Ⓓ佐世保市総合医療センターに新卒で入った福田です。所属は、微生物検査です。ルーチン検査や緊急検査など、覚えることは沢山ありますが、一つずつ覚えていき、地域の医療に貢献していきたいです。

上田　寿奈

Ⓐ　佐世保市総合医療センター

Ⓑ　大分

Ⓒ　テレビ鑑賞（なんでも観ます）

Ⓓ佐世保市総合医療センターに勤務しています。大分県出身の上杉寿奈です。至らない所もあると思いますが、よろしくお願いします。

お知らせ

9月12日（土）長崎県の委託を受けてPCR実技研修会が長崎大学病院にて開催されました。23名の応募がありましたが会場の都合により参加者10名での開催となりました。研修後のアンケートでは、少人数で内容の濃い充実した研修会だったという感想をいただきました。実は、この研修会開催の経緯や内容について、会報JAMTの中に掲載していただくことになりました。少し先のことになりますが、ぜひ日臨技ホームページやJAMTマガジンで確認してみてください。（門）